

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	小2	国語	Microsoft Word - R4 v. H	授業構想力	●用紙のサイズによって書くスペースが限定されていたため、たくさん書きたい学習者が思いを全て表出できなかった。	学習者の思考が端的に表出されると考えて、用紙のサイズや表現方法（会話文のみにする）を限定した。
R4	中3	社会	⑦中学校指導案（社会科）.pdf	授業構想力	○1ドル何円が理想かをお互いに意見を出し合いながら、自分とは異なる意見に触れ、考えることができていた。	生徒全員がお互いの意見を見ることができるよう、黒板を使うことを計画し、生徒の意見形成に活かせるように工夫した。
R5	小6	理科	04_2_理科学習指導案（小学校）.pdf	授業構想力	●外化場面を通して、考えの変容があまり見られなかった。	児童実態を踏まえると、外化場面は1つの範囲で十分であった。
R6	小5	理科	04_2_理科学習指導案（小学校）.pdf	授業構想力	○「電磁石から鉄心をぬくとどうなるか」という問題に対して、既習事項と関係付けながら予想したり、内化と外化の往還をしながら、より妥当な考えを持ち、実験に取り組むことができた。	児童の葛藤を生むような問題設定をした。 内化と外化の往還を促すことで、自身の考えをより吟味できるようにした。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○「自分が不器用すぎる」と言っていた生徒が思ったように並べることができ始めると「きたきた、これがしたかった」と言っていた。 ○「失敗したから嫌だ」と言っていた生徒が絵を回転させて並べて自分の絵の良さに気づき新たな価値を生み出していた。	タブレットを用いて組み替えを行うことで、形を組み合わせたときのつなげ方の工夫を試行錯誤しながら考えることができるようにした。
R4	中2	保健教育	【学 校 保 健】	授業構想力	○自己の内面を数値化することで自己理解を深めることができた。	自己を客観視するためにエゴグラムで可視化する方法を用いた。
R5	小6	理科	04_2_理科学習指導案（小学校）.pdf	授業実践力	○授業の初めに悩み中であった児童が、自分の予想をもつことができた。	授業導入で、教師が悩んでいる児童の考えを取り上げた。 多様な外化場面を設定した。
R4	複高	道徳	⑨小学校指導案（道徳科）.pdf.pdf	授業実践力	▲自己内の情意的な捉えと認知的な捉えを区別して意識することはあまりできていない。	教材を読んだ後の、率直な感想を聞くことをした。（が、うまく言語化できない様子だった。一内包する価値が複雑？）
R4	中3	社会	⑦中学校指導案（社会科）.pdf	授業分析・評価力		生徒の発表やワークシートの内容から、目標に迫るように変容できているかを見取った。
R5	小6	算数	03_2_算数科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○自分の選択した作図方法を説明する姿	作図方法を説明する場を設けた。
R6	中3	技術	09_1_技術科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	●実践前平均11.09個、実践後平均12.39個と微増にとどまった。 ○比例制御、ON-OFFなど、制御の種類に関する言葉の数が増えた。	単元前後のマインドマップ（計測・制御）による比較